

2011 05/05 上京ペタンク振興会 第4回競技大会

今年も上京ペタンク振興会主催の競技大会が開催されました。私は振興会会長として「第1回から第3回まで上京区のチームが優勝していないのでそろそろ優勝を」とプレッシャー?になりそうな挨拶。



嶋田実行委員長の開会宣言



仁和 C チームとして出場。伊藤さんの足を引っ張る…ゴメンナサイ。朝は少し曇っていたが良いお天気になり、皆さんもプレーが真剣になってくる。



◇ご意見・ご要望などお気軽にお書きください。

Form with dashed lines for writing comments or requests.

◇上京区内のご友人・お知り合いをぜひご紹介ください。

Form for introducing friends or acquaintances from the Ukyo-ku area.

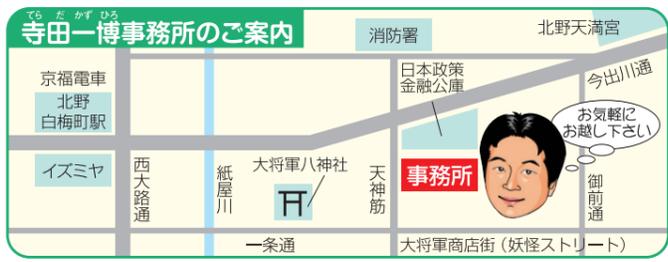
上京区の方々から「開会の挨拶で優勝するように言われたから必死で頑張ってる。」と声をかけられる。すると決勝トーナメントベスト4に上京が3チーム!俄然優勝の期待が高まる。結果、見事に出水クラシックが優勝!大変お世話になっておる松見さんご夫妻のチーム。そして準優勝も出水グランプリ、3位には小川こぶなチームと上京チーム大健闘。また交流トーナメントも優勝に中立ひまわりと上京チームが目立った表彰式となりました。毎年準備の会合を何度も行い、グラウンドの設営や受付等を行っておられる皆さんが勝利され本当に嬉しい1日でした。



京都寺友会通信

2011年 初夏 発行

寺田一博事務所 TEL: 075-463-5441 FAX: 075-463-8333 ホームページ <http://k-terada.jp> ブログ <http://blog.k-terada.jp> e-mail waken150@aol.com



京都寺友会通信

4月の選挙では多くの皆様のご支援により3回目の当選を果たすことができました。本来ですとお伺いするなり、お手紙で御礼の挨拶をするべきところではございますが、公職選挙法第178号に「選挙期日後のあいさつ行為の制限」が規定されています。議員としてしっかりと活動することにより、皆様のご支援ご期待にお応えしたいと思っております。ご理解いただきますようお願い致します。 京都市議員 寺田一博



代表質問

熱く駆ける、熱く語る。京都愛スピリット。政策実現力!

5月27日(金) 午前10時30分頃より KBS京都にてテレビ中継(予定) 本会議場で傍聴希望の方は寺田事務所まで

—自民党市会議員団の代表幹事に選ばれる—

自民党議員団内では議員の投票で決まる役職が、団長1名、代表幹事2名となっています。団長に井上与一郎議員(右京区)、代表幹事に加藤誠司議員(中京区)、私 寺田一博(上京区)が選ばれました。自民党議員団において議員6年目での代表幹事は異例だそうです、しっかりと任を果たしたいと思っております。

代表幹事とは 自民党議員団を代表して市会において理事となり議会の運営や他党派との交渉を行います。また通常は所属委員会に関する局と話すことが多くなりますが、代表幹事は全ての局と話をすることが多くなります。 議員団で最も多忙な役職であるため、通常は委員長等の役職を兼務することはありません。

2011 05/06 被災地を訪れて その1

京都市は大都市災害時総合応援協定により同じ政令指定都市である仙台市への支援を中心に行っていたこと、被災地への短期的支援から中長期的支援に変わる時期であること等を総合的に考え、自民党市会議員団で仙台市を訪問致しました。

仙台空港は未だ仮設状態で空港の時計は津波発生時（午後4時）に止まったままです。

仙台市役所に到着後、窓口としてお世話になった、自民党仙台市支部連合会会長の岡部恒司市議員を始め、地元市会議員の皆さんと意見交換を行う。

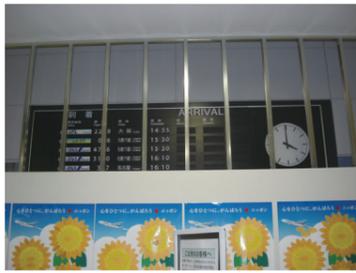
海岸線に近い地域での津波被害や山に近い地域での地滑り被害等地域によって被害状況の違いをお聞きし、復興に向けての支援について議論。

その後、伊藤敬幹仙台市副市長より被災状況の説明を受けました。

副市長の話聞き、復興にはかなりの時間が必要となるが、地元自治体では出来ることに限界もあり早期に国の支援が必要であると痛感。一方、京都市のスピーディな支援に大変感謝され、京都の皆様との絆を感じておられることが良くわかりました。

私たちが選挙時等に設置した義援金箱に入れていただいた皆様からお預かりしたお金を副市長に代表して手渡しました。

私の選挙事務所ではアルバイトの学生がバイト代全額を義援金箱に入れた話も披露。



自民党京都市会議員団を代表して挨拶↑

仙台市消防局より全体の被災状況を、建設局からは仙台市民7割の汚水を処理している南蒲生浄化センターの被災状況を中心に説明を受ける。

また、大ベテランの大泉鉄之助議員より災害発生時に停電でバーコードの機能しなくなったコンビニにおいて、店長が「商品はそのままお持ち帰り下さい。品代は後日で結構です。」と言って対応したところ、後日ほとんどの方々が「私はこれとこれを買いました。」と言って商品代を持参されたというエピソード等をお話いただきました。

その後京都市職員が派遣されている避難場所のサンピア仙台へ向かいました。



2011 05/06 被災地を訪れて その2

仙台市役所よりサンピア仙台に向かう際に現地を訪れていた京都市消防局の名畑消防士と合流。

名畑氏は仙台市にて設置されていた京都市現地対策本部の部長として活動されていた為、被災直後と現在との比較や、京都市の現地での取り組み状況など移動時間に話を聞く。

レイピア仙台にて京都市派遣の保健福祉局職員さんと面談。(右は名畑氏)→

避難所として比較的きれいな建物ではあるが、住民の皆さんが何度も避難所の移動を余儀なくされておられること、調理施設がなく写真のようなお弁当が続くため野菜が不足がちになっていることが問題であることや、精神面、健康面のケアを行っているとお聞きする。



近くの蒲町小学校でも京都市の職員さんが活動されておられるとお聞きし移動。

同じくここでも食事の問題はあるようでしたが、驚いたのは個人スペースを確保できる小部屋のようなものはあるが使われていないとのこと。皆さんともに力を合わせようとの気持ちだそうです。



地元仙台市職員さん、京都市保健福祉局の職員さんから話を聞き長期にわたる支援の必要性を認識。

避難所の訪問を終え、市役所で説明を受けた南蒲生浄化センターへ移動し、車中においても被災地の説明を受ける。

2011 05/06 被災地を訪れて その3

仙台市民7割の汚水を処理している南蒲生浄化センターは海岸の近くにあり津波により深刻な被害を受けた。しかしながら市民生活の混乱を避けるべく、復旧方針として「市民のトイレ利用継続」、「都市内衛生環境の保持」に全力で取り組まれました。センターは水処理系のほとんどの機器類は破損し使用不可の状況下、応急復旧として放流渠能力の確保、消毒処理の実施、沈殿槽の確保、汚泥処理等を行い市民の生活に大きな支障がないようになりつつあります。しかし現場の状況を見ると言葉を失います。



第3ポンプ室では建物北面（海側）の壁面が津波により湾曲、内部の柱も大きく曲がっていました。また送風機室では北面の壁が窪んでいました。送風機室内部の状況ですが、完成したばかりの施設が破壊され全く使えない状況です。



こういった状況を見ると国からの支援が早期に必要であることを強く感じます。(概算であるが南蒲生浄化センターだけで1000億に近い復旧費が必要) その後空港に向かう途中、若林区の荒浜地区に立ち寄り。



それでも大分整備されたのですよと聞き驚く。津波の恐ろしさ、まさに一瞬の内に全てのものを奪い去った状況を目の当たりにする。未だ電気が復旧していない為、信号が使えず警察官が交通整理している交差点が多かった。仙台空港では壁に多くのメッセージが寄せられていた。



2011 05/06 被災地を訪れて その4

多くの方々のご配慮により貴重な被災地への訪問となった。今回自民党議員団を代表して仙台市へ訪れたが、復興はこれからである。短期支援から中長期的支援に移行するが、被災直後の感情的な支援から息の長い支援が必要となってくる。実際仙台市中心部では



裏面に続く

Post office information including address (京都市上京区一条通御前通西入ル大上之町57-1), recipient name (西陣局承認 726), and a QR code.

A form for providing contact information (お名前, ご住所, お電話, FAX) and a section for additional comments or instructions.

個人情報の取り扱いについて ご記入いただいた個人情報は、寺田かずひろ事務所の活動のみに使用いたします。個人情報の保護には万全を尽くします。